

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[トラブルシューティング](#)

[電子メール アラート](#)

[ローカル ファイルへの出力の追加](#)

[ローカル ファイルへの出力の追加とスクリプトの削除](#)

[出力の収集とローカル ファイルへの書き込み](#)

[モジュラ IOS での CPU 使用率の監視](#)

[スクリプトの削除](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に Cisco IOS を使用する方法を記述されています^が。組み込みイベント マネージャ (EEM) サブシステム Cisco Catalyst シリーズ スイッチの CPU使用率が高い状態を監視するため。

前提条件

要件

このドキュメントでは、ユーザに Cisco IOS Embedded Event Manager (EEM) に関する知識があることを前提としています。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Catalyst シリーズ スイッチに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

EEM は、期間が短く、コマンドライン インターフェイスを使用して手動でトラブルシューティングを行うのが困難である偶発的かつ散発的な CPU 使用率の急激な上昇のトラブルシューティングを行うのに非常に便利なツールです。CPU 使用率の急激な上昇の例を次に示します。

トラブルシューティング

このセクションでは、CPU 使用率を監視するために EEM スクリプトを使用するいくつかの例について説明します。Catalyst 2960 および 3750 スイッチを使用すると、EEM で不揮発性 RAM (NVRAM) を使用できます。Catalyst 4500 スイッチを使用すると、EEM でブートフラッシュへの書き込みが可能になります。Catalyst 6500 を使用すると、EEM で disk0 および sup-bootdisk を使用できます。

注 このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) を使用してください。

電子メール アラート

CPU 使用率が 50 % を超えると、次のスクリプトによって電子メールでアラートが送信されます。電子メールの本文には、`show process cpu sorted` コマンドの出力です。

斜体の変数の定義は次のとおりです。

- *highcpu* - イベント マネージャのアプレット/スクリプトの名前
- *1.3.6.1.4.1.9.9.109.1.1.1.1.3.1* - ルート プロセッサ (RP) の合計 CPU 使用率をポーリングするためのオブジェクト ID (OID)
- *50* - スクリプトを開始する CPU 使用率
- *poll-interval 0.5* - スクリプトで CPU を監視する頻度 (0.5 秒ごと)
- *192.169.1.1* - メール サーバの IP

ローカル ファイルへの出力の追加

次のスクリプトにより、必要な出力がローカル ファイル システムのファイルに追加されます。*file system* をスイッチ上の適切なファイル システムに置き換えてください。

ローカル ファイルへの出力の追加とスクリプトの削除

このスクリプトにより、`show process cpu sorted` コマンドの出力がローカル ファイル システムのファイルに追加され、完了すると、それ自体が削除されます。*file system* をスイッチ上の適切なファイル システムに置き換えてください。

出力の収集とローカル ファイルへの書き込み

このスクリプトでは、必要な出力を実行および収集して、それらの出力をローカル ファイル システムに書き込むために syslog ベースのトリガーを使用します。 *file system* をスイッチ上の適切なファイル システムに置き換えてください。

モジュラ IOS での CPU 使用率の監視

また、Cisco EEM を使用して、モジュラ IOS で CPU 使用率を監視することもできます。モジュラ IOS で CPU を監視する方法に違いがあるため、IOS ベースのプロセスで CPU 使用率をチェックするために簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) の OID (1.3.6.1.4.1.9.9.109.1.1.1.1.3.1) を使用できます。

このスクリプトでは、トリガーとして OID を使用して、必要な出力をローカル ファイル システムに書き込みます。 *file system* をスイッチ上の適切なファイル システムに置き換えてください。

スクリプトの削除

EEM スクリプトを削除するには、次のコマンドを入力してください。

```
Switch(config)#no event manager applet applet name
```

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)